

千葉県在宅医療機関等における安全確保対策推進事業補助金 活用事例

NO	事業区分	事業内容		期待される効果	備考
1	通話録音装置等の機器の配備を行う事業	電話取付型 ボイスレコーダー	電話に取り付けたり訪問時に持参できるボイスレコーダーを準備することで、記録を残し、今後の対応に備える。	記録に残すことで、利用者への注意喚起や、暴言などの抑制効果及び職員の安心につながる。	
2	通話録音装置等の機器の配備を行う事業	ノート機能付き ボイスレコーダー	ボイスレコーダーを使用することで記録を残し、重要な内容の聞き間違い防止や今後の対応に備える。	記録をとることで、従業員の安心につながる。	
3	通話録音装置等の機器の配備を行う事業	スマートタグ (位置が追跡できるデバイス)	訪問時に従業員が持参する荷物にタグを取り付けることで、従業員の位置情報を確認できる。	時間になっても対象者の家にいることが確認された場合、状況確認のための連絡を入れたり安全確認のために別スタッフが訪問する等の対応ができる。	
4	通話録音装置等の機器の配備を行う事業	ウェアラブルカメラ 防犯ブザー	スタッフが一人で訪問時、外部への危険の伝達方法の確保及び証拠の保全。	いざという時に周りに助けを求めることができるなどスタッフの安心につながる。	
5	通話録音装置等の機器の配備を行う事業	omamolink (sos通知、位置情報伝達、録音、ブザー等の機能があるデバイス)	機器の使用により、職員の安全を確保しつつ、記録等をハラスメント発生予防に活用する。	職員の安全につながる。 再発防止につながる。	
6	通話録音装置等の機器の配備を行う事業	通話録音装置 小型デジタル録音機 防犯アラーム	職員の安全確保。 業務環境の改善	職員の心理的安全性と業務への集中力向上 暴力・ハラスメントの抑止効果 客観的な証拠確保による適切な対応 職員の離職防止・環境改善 職員全体の防犯意識と対応力の向上	